

GIGA ワークブック活用状況調査のご案内

■ 調査目的

本調査は、LINE みらい財団が提供する「GIGA ワークブック」の教育現場での活用状況を把握し、教師・児童生徒のデジタルリテラシーや端末活用の格差解消につながる効果を測定することを目的としています。自治体での導入状況、学校現場での活用度、児童生徒の学習効果などを測定することで今後の情報モラル・情報活用の啓発活動に役立ててまいります。

■ 調査概要

調査対象：小学校・中学校の学校管理職、教員、児童・生徒

調査方法：アンケート調査（オンラインアンケート）

調査主体：一般財団法人LINEみらい財団

調査協力：多摩大学情報社会学研究所・明星大学

■ 主な 調査項目

・ 教員向けアンケート

基本情報と教育活動：校種/役職/担当学年/教科/担任の有無/授業実態など。

ICT 活用と GIGA ワークブック：端末の利用状況/指導方法/他教員との協働/GIGA ワークブック活用度/効果/課題/今後の意向など

・ 子供向けアンケート

基本情報と学び：学年/クラスなど基本情報/勉強に関する自己意識など

ICT・デジタル活用：タブレット・パソコン・スマホ使用状況/ネットでの情報収集・文章作成など活用状況/友人との連絡・遊びへの活用/電子機器の得意意識など。

生活と意識（情報モラル含む）：保護者とのコミュニケーション、インターネットのルールやマナー意識/個人情報やパスワードなどの扱いに関する意識など

■ 調査期間

2025 年 10 月下旬～2026 年 1 月中旬（アンケートおよび情報モラル特別授業実施期間）

■ ご協力をお願い

調査結果は、教育現場の ICT 活用推進やデジタル格差解消のための施策改善に役立てられます。ご応募・ご協力いただきました学校の児童・生徒様へ情報モラル授業「GIGA ワークブックオンライン特別授業（無料/実施校数限定）」を実施させていただきます。調査へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※調査結果は統計情報として公開することがございます。

※本件に関するお申込み詳細については別途配布されるチラシにてご確認ください。